洛西

長岡第三小

児童の学年は、いずれも作品を制作した2020年度のものです。

「カラフル　あおむし」
1年　中川　幹太

「カラフル　あおむし」
1年　野口　楓

「たのしくうつして「じどくのそうべえ」
2年　戎　佑之介

「たのしくうつして「じどくのそうべえ」
2年　藤坂　りな

星ふる町

五年　能勢　百花

星ふる町

五年　井上　花菜

六年山石崎　銭金

秋

はりもと質
まじめな質屋
金・プラチナ
高価買取！
京阪くずは駅前
(有)橋本質店
☎072(856)1234

洛西総局
〒617-0006
向日市上植野町
上川原7-1
代表 075(933)1121
FAX 075(933)1122

本社報道部
☎ 075(241)6119
FAX 075(252)5454

「わが家の主役」募集を広げます

就学前のお子さんが対象で、応募者が乙訓地域に在住のことか各販売所に備え付けの申込書に写真と、母子手帳の「出生届出済証」か健康保険証のコピーを添えてお届けください。写真は返却

飲食店や施設協力10万円増

のびのびギャラリー

負けない 新型コロナ

相手に響く声と話し方とは？

元NHKキャスター・川邊さん 長岡京で講演

意思表示の大切さ、実演交え訴え

元NHKニュースキャスターの川邊暁美さんを講師に招いた「女性支援講座」が、オンライン配信で開かれた。川邊さんは男女共同参画に欠かせない意思表示の大切さを話した。

長岡京市男女共同参画センターの主催。川邊さんはニュースキャスターや兵庫県広報専門員を経て、人材育成やコンサルティングなどを行う「言の葉OFFICEかのん」の代表を務める。

講座では「輝け！わたし!! 相手に響く伝わる声と話し方」をテーマに講演。受講者は12人で、聴覚障害のある1人が要約筆記のサポートで受講した。

川邊さんは自分の声にコンプレックスがあったが高校のコーラス部の発声練習で明瞭に話せるようになりアナウンサーを目指すようになった経緯を紹介した。受講者は腹式呼吸や明瞭な発声法、相手に伝わる話し方などの指導を受けパソコンのモニター越しに体験。

「常に自分の話し方を意識して心と言葉の感性を磨き、必要です。出して皆ん話をしいと思う

塩満香奈

乙訓2市1町ワクチン接種予約

向日市

7月以降分　受け付け中

方法
・専用予約サイト
・LINE（市公式アカウント）

(0570)001058
午前9時～午後5時

7、8月分　6月1日から

大山崎町社協 20年度「赤い羽根共同募金」寄付額187万3855円

府共同募金会の「募金百貨店プロジェクト」の調印式（大山崎町円明寺・同町社会福祉協議会）

「社協だより」製作費を共同募金に

大山崎町社会福祉協議会（同町円明寺）に2020年度寄付された「赤い羽根共同募金」が、前年度より約10万円増額の187万3855円だった。新型コロナウイルス禍で街頭やイベント集金が落ち込む中、町内の施設や店舗が集金箱を設置するなど、地道な努力が功を奏した。（鷹堺朱里）

街頭落ち込むも 募金箱置き助け合い

共同募金は、集まった寄付金の7割が、集めた自治体で独居高齢者や子育て世帯の支援などに使われる。障害のある人が暮らしやすいまちづくりにも役立てる。残りの3割は災害時のボランティアセンターの設置など、市町村の枠を超えた活動に使われる。

同社協は昨年、「コロナ禍の外出自粛期間に呼び掛けた「今だからこそつながろうプロジェクト」の一環で、手作り募金箱を募った。夏休みの福祉学習で小学生が作ったものなど13点が町内外から集まり、町内の飲食店や自治会館に設置した。他にもリモートでイベントを開催し、寄付を集めるなど精力的に取り組んだ。

社協職員は「積極的に集金してくれた自治会もあり、戸別集金が増えた。集まった寄付金は住民が暮らしやすい町にしていくために有効活用したい」と話した。

府共同募金会の「募金百貨店プロジェクト」に大山崎町で初めて、地域誌を発行する「大山崎リトルプレイス」（同町尻江）が覚書を交わした。同町社会福祉協議会の「社協だより」製作費の一部を赤い羽根共同募金として同社協に寄付し、町の福祉事業の充実に役立てる。

リトルプレイスは昨年から「社協だより」の製作を請け負い、それまで年に3回だった発行を4回に増やすなどし、福祉の充実に取り組んでいる。同社協の荻野和雄会長（77）は、「社協だよりは、住民からも好評。町内の多くの企業がこのプロジェクトに興味を持つきっかけとなり、賛同する企業が増えることを願う」と話した。

「リトルプレイス」代表の女性は「社協に協力しながら、町の住民の生活に還元できてうれしい」と思いを語った。

大山崎の地域誌発行会社が覚書

府共同募金会の「募金百貨店プロジェクト」に大山崎町で初めて、地域誌を発行する「大山崎リトルプレイス」（同町尻江）が覚書を交わした。同町社会福祉協議会の「社協だより」製作費の一部をつきっかけとなり、賛同する企業が増えることを願う」と話した。

「リトルプレイス」代表の女性は「社協に協力しながら、町の住民の生活に還元できてうれしい」と思いを語った。